

# かえる便り 29年度33号

平成30年2月13日

春寒の候、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

今まで指導してきた中で最も能力の低いチームが新人戦の決勝戦に進出しました。

決勝とは“最終的な勝敗を決する凄く晴れやかな場”です。その最高の舞台上

戦う技術・判断力を持った選手はいませんが、“闘う心”は持っていたよう

に思います。凄い格上の相手が3連戦に対し、能力の低いチームが4連戦ではやむを

得ない結果ですが、ミスが多く残念な内容でした。格上相手にははならないミスが

多すぎました。部員達はどのように思ったでしょうか…？ 誰が見ても決勝に出るに

相応しい力を身に付けさせられるよう指導していきたいと思います。



近江商人の考え方は『三方よし』 売り手よし 買い手よし 世間よし 自分の利益だけを求めるのではなく、お客様がその品物を買って喜び、それが社会にとっても有益なものであるという考えです。自分だけの利益、目先だけの考えで行動することは簡単ですが、自分の行動が仲間を助け、社会貢献に繋がるものでありたいと思いますね。導く立場の人ほど社会貢献を考えなければならないと思います…

誰でもそうやけど 反省する人は きっと成功するな。

本当に正しく反省する。 そうすると次に何をすべきか

何をしたらいかんかということが きちんとわかるからな。

それで成長していくわけや 人間として。

今回、決勝までの4試合は非常に緊張感のある試合で、どちらが勝っても不思議ではない内容でした。そのような中で試合をした選手にとっては素晴らしい体験であったと思います。自分のプレーをより詳細に分析・反省し、次に生かせるよう努力してほしいと思います。

大変な寒波の中の試合でしたが、選手達が体調崩すことなく戦えたのは、皆様方のご支援の賜だと感謝しております。特に、松江の二日目は試合が中止になる悪天候にも拘らず多くの皆様に足を運んでいただき申し訳なく思っております。皆様方の想いが部員達にも伝わり大きな力になったと確信しています。大会中、卒業生や3年生たちからも差し入れをいただきました。本当にありがとうございました。